

第6回 自前研修 アンケート

(平成 25 年 11 月 23 日 教育センター本館)

第6回自前研修は、高知市立初月小学校の教頭先生をお招きし、「言語活動」についての研修を行いました。

言語活動の充実に関する基本的な考え方から、日ごろ、こどもたちと接しながら感じていることなどを、先生のやわらかい雰囲気と分かりやすい表現でお話いただきました。

言語が様々なものの基盤であることや、生活に生きて働く言語活動が大切であることの説明をはじめ、私たち自身が言語活動を高めるために実践できる内容もたくさんありました。また、参加者から事前に募った質問にも丁寧に回答をいただき、「うまく伝えたいけど伝わらない。どうしたら?」といった悩みにも、解消できそうなヒントをたくさんいただきました。約3時間があっという間!もっと時間がほしいと思った方が多くいらっしゃったようでした。

以下は、研修後のアンケートです。アンケートへのご協力、ありがとうございます。

アンケートは、毎回、反省と今後の研修計画の参考にさせていただいています。ぜひ、ご一読ください。(同じご意見等は、少しまとめさせていただいています。)

また、研修後に先生から感想をいただくことができました。併せてご覧ください。

研修に関するご意見がありましたら、いつでも何でもかまいませんので、お近くの研修部員や県事務研へのメールなどでお寄せください。

1 今日研修の感想をお聞かせください。

- 横道にそれた話の中にたくさんのヒントがあった。とてもほんわかした、すてきな先生だった。自分に当てはめて考えることができた。
- 「学校経営への参画」とは、こういうふうに教員からの話を事務が聞く、事務からの話を教員が聞く、ということの繰り返しで、「組織」を意識し、変わっていくことだと思った。
- 今まで自分が気づけなかった観点からの知識を得られたので良かった。
- 自分の課題と考えている内容だったので、実りが多い研修となった。先生の話術に引き込まれた。
- 職員会での提案の仕方、話し方の参考になった。教育課程の話からスピーチの仕方への話等、良かった。
- 基本的な小学校の学習からの話で、メモを取り、まとめ、伝えたいことを自分が理解したうえで聞き手を意識した話し方をすると、ということが分かりやすく、改めて勉強になった。つつい焦って、本当に伝えたいことがうまく伝わらないことが多いので、気をつけていきたいと思った。
- “プレゼンテーションが苦手”。そんな私が、ちょっとでも意識を変えようと参加させてもらった。私たちが受けた国語教育と現在の教育の違いも分かり、ちょっと前進したように思う。場数をふむことで成長することもあると思う。チャレンジしてみます。
- 実際に学校で実践されていることについても教えていただき、大変参考になった。改めて「言語活動の充実」の大切さを知ることができ、大変有意義な時間となった。
- 言語活動の意味から詳しく教えてくださり、良かった。小学校の国語内容の資料を読みながら、大人になった今でも欠けている部分があるなと思い、勉強になった。
- 先生の上手な話で楽しく研修を受けることができた。言語活動について、学級でどんな活動をしているのか詳しく知ることができ、とても勉強になった。自分の学校の活動も、もっとよく知って

いかなければと思った。

- 本当に楽しい研修会だった。前半の難しい話もいろんなことに関連付けて話してくださったので、するする聞けてあつという間の時間だった。先生のいる職場は楽しそうだった。
- 「円滑な言語活動」は、話すこと聞くことだけでは充実しない。読み、書くことも、また必要であることを改めて考えさせられた。日常業務の中ではあまりできていなかった、読むことや書くことについて、今後は意識的にとらえ、スキルアップに繋げていければと思った。
- 普段ぼんやりと感じていた仕事などが、「ああ、なるほど！」と、言語などの形になっていくのが分かり、とても充実した内容だった。
- 非常に勉強になる研修だった。話すこと聞くことの基本を学べて、学校で提案や発表する際の参考にしたい。相手に伝えるということは難しいことだが、今日学んだことを実践していきたい。
- 日々の言語活動が大切だと感じた。漠然としたものでなく、様々な角度から視点を変えて行うことが重要であると思った。そして何よりも、実際に人と向かい合って相手のことを考えながら話す、聞くことが重要であると思った。
- 話すこと、書くことが苦手だが、先生の楽しい講演を聞いて勉強になった。聞く側が聞きやすい声のトーンや速さ、理解してもらえよう順序立てて話ができるよう、今日学んだことを心がけていきたい。
- 事前に出していた質問にも丁寧に答えていただき、いろんな事例を交えていて分かりやすかった。
- 相手に伝わるように話すコツが分かった。職員会で提案するとき、緊張してなかなかうまく言えないことがあるが、順番を考えながら、たくさんの先生方の様子を見てしっかり伝えていきたい。
- 聴く（耳・目・心で聞く）ことの大切さに改めて気づかされた。
- 事務―教師の言語活動ではなく、子どもの教育についての言語活動がメインだと感じた。その中でも、教員とのかかわりで利用できる部分を活用したいと思った。
- 先生のお話が楽しくて前向きで、とても明るい気持ちにさせていただいた。
- 分かりやすく説明をするためには、聞き手を理解し、相手の立場に立った話し方をしないといけないと感じることができた。良い研修会だった。
- 自分も苦手な部分についての研修だったため、とても勉強になった。半日ずっと、夢中になって研修を受けることができた。実際にスピーチをしてみて、すんなりとできたことに驚いた。
- とってもきれいでかわいらしい先生で、ちょっとびっくり。話も分かりやすくて、本当に授業を受けているような気分で楽しかった。「相手の気持ちと自分の気持ちと同じとは限らない」。私自身、この気持ちを大事にして日々過ごしているが、私が相手の気持ちを汲み取っても相手がそっぽを向いていたり、私の気持ちを汲み取ろうとする姿勢がなかったりすると、コミュニケーションとしては成り立たず、日々悩んでいるところ。みんなが思いやって相手の気持ちを考えられるよう、こういった研修を受けたり学んだりすることが大事だなあと思った。
- 言語活動、話す・聴く・書く・読むということは生きていく中でとても重要だと、改めて感じる事ができた。先生の話には、実体験もたくさん交えられていて引き込まれた。半日では短いと思うほど、面白かった。
- 言語活動ということ、具体的に知ることができて良かった。子どもたちへの教育ということだけではなく、自分自身が話すときの参考にもなる研修で、大変勉強になった。
- 「言語活動」教育課程のこと、実際の教材等も示されていたので良く分かったような気がする。それ以上に、日々の仕事の中で必要な、伝えることの大切さ、重要性が良く分かった。あつという間の3時間だった。今の授業が自分の受けたものと大きく変わっていることも良く分かった。どう違っているのかも分かり、今後、生かしていきたいと思う。
- 前半の理論と後半の現場の実践、そして質問に対して答えていただく形式はとてもよく分かり、良かった。若い人にも参考になったのではないだろうか。
伝える力やコミュニケーション能力を高めることは、これからの若い事務職員にとって欠かせな

い力となり、プレゼンテーション力なども身につけることで職務に活かせると思う。「うんと勉強してほしい」「人を理解する」という講師の方の呼びかけに応えて、今以上に教育環境の整備に努めてほしいと思う。

- 今回の研修を受けるにあたって、自分も事前に調べたりして臨んだ。先生の話にもあったように、研修で何をしたいのかしっかり勉強して、これからも研修に参加していきたい。
- 相手に良い印象を持ってもらえて、かつ、自分の伝えたいことを伝えるための方法を学ぶことができた。
- 「言語活動」ということで、人に伝えるためにどうしたらよいか、とても勉強になった。何を伝えたいか、聞き手の立場に立って、まとめることを意識していきたい。
- 先生は本当に話すことが好きなんだなあと、今日の講演を聞きながら、それがとても伝わってきた。日ごろ自分が学び感じていることを言葉にするのが難しいと思ってしまう自分は、まだまだであると感じさせられた。話すことを論理的に考え実行すること。話すことを好きになれることって、素敵だなあと感じる研修だった。このテーマについては、自分の中でまだまだ未解決の部分が多いので、今日のたくさんのヒントもふまえ、今後も考えていきたいと思う。

2 今日の研修を受けて、実際にやってみようと思ったことはありますか。

- 言語活動の充実を各教科において実践していただくことが学力向上に繋がると思っているので、そのあたりを、管理職の先生と意見交換するなどして、本学校として位置づけてもらえるようになりたい。
- 「言葉の社会化の違い」があることを意識していきたい。
- 人に伝わる話し方ができるようにがんばる！
- 職員会等での提案の際、今日のポイントを活用して行いたい。
- 感情の言語化
- ポイントを抜き出した話し方
- 声のトーンを高くして話すこと。「ソ」の音で話し始めること。
- 辞書引き学習は重要な学習だと実感した。自分の学校でも先生方が教材を作成して実施しているので、継続的に行わなければいけないと思った。
- スピーチメモにチャレンジしようと思う。私も説明が下手なので、今回の研修を参考に、聞き手を意識した伝え方ができるようにしたい。
- 話す前に伝えたい内容をしっかりまとめるように心がけたいと思う。
「しっかりイメージを持って！聞き手を意識して！」
- 職員会などで職員の理解を得られるよう、共感できる資料作りなどをしていきたい。
- 日々、言語活動を行い、コミュニケーション力を高め、学校運営に役立てるように努力していきたい。
- 説明するときの順番（結論から話すこと）に気をつける。
- 日々、勉強する！
- いろんな場で意見を出すように心がけているが、自分の思いがうまく言葉として出ない。振り返ってでもいいので、どんな思いだったのか自分で確認していこうと思った。
- 今まで以上にメモを取ることに。
- 苦手なことでも続ける。
- 職員会等で提案をするときに、自信をもって話せるよう、事前準備を怠らないようにする。
- 日々、言葉を書いたり読んだり聞いたり、まとめたりして力をつける。
- 受け手主体の話をするように心がける。（相手が分かる言葉の使い方）。
- 順序立てて、イメージをして話をしようと思った。また、子どもとかかわる際には気をつけてい

きたい。

- 教職員の前で提案する際には、事前にもっと準備をしようと思う。生徒とのコミュニケーションのとり方にも気をつけようと思う。
- たくさん場数をふみ、相手の立場に立って話をしたい。
- 自分の気持ちをうまく口に出せなくてすぐに怒ったり泣いたりする子どもが多い。子どもの気持ちは分からないなあと、あまり深く考えていなかったが、そこに至った背景や事情を知れば、分かることもきっとあったのだろうなと今日改めて思った。泣く・怒る、そういう気持ちになってしまったということに事情があるのは当然。傍観者としてではなく、何があったのか、どうしたのか、子どもの気持ちになって考えてみたいと思った。
- 先生が最後におっしゃっていた若手事務職員へのメッセージ、「たくさん勉強すること」は実践していこうと思った。
- スピーチ原稿の作り方。手順が詳しく載っていたし、実践したらとてもやりやすかった。人前でスピーチをするときは「しゃべりたいことの始めだけをメモする」。この便利なやり方を初めて知った。職場で職員に話をするときには早く、分かりやすく伝えなければならない。すぐ、この技を使ってみる！
- 若い人との研修等に取り上げて伝えていきたい。
- 何を伝えたいか、自分がしっかりと内容を理解しておくことは大事だが、聞き手あってこそなので、やはり聞き手を意識し分かりやすい言葉を使い、話があちこちしないよう、時系列に、そして結論は始めに伝えるということに気をつけて実践に繋げていきたい。
- 「ポイントにマーカー」有効に活用したい。
- 「予測不能な世界で子どもたちはこれから生きていかななくてはいけない」の言葉が一番印象に残っている。自分が当たり前と思っていることも当たり前にはいかないかもしれない。事務職員として、できることから子どもたちを支えていきたい。
- 非言語でのコミュニケーションの印象が93%を占めるということに驚いた。話す内容を充実させることに加えて、それらに対しても良い印象を持ってもらえるように努力する。
- 読む・書く・まとめる・メモをとる、を生活習慣にしていきたい！

先生から、感想をいただきました☆

講演を終えて

先日は、講師として第6回自前研修にお招きいただきまして、ありがとうございました。

私としましては、大変有意義で、楽しい時間を過ごさせていただきました。

最初はいただいた時間が3時間ということでしたので、お話をいただいたときは不安に思っておりました。しかし、事前に事務研の方々と1時間あまりの協議の時間を取っていただくことができましたので、その不安もどこかにとんでいってしまいました。

当日は、熱気あふれる会場を見たたん、緊張感が一気に高まりました。自分としては、準備に準備を重ねてきたはずでしたが、結果的には時間を上手に使うことができずご迷惑をおかけしてしまいました。申し訳ありませんでした。しかし、参加者の皆様は、熱心にお話を聞いてくださり、また、演習にも積極的に取り組んでくださり、本当に助かりました。ありがとうございました。

後日、アンケートを読ませていただき、身に余る言葉をいただき、心より感謝しております。私への配慮の行き届いた文章に加え、学ぼうとする意欲を強く感じました。素晴らしいことだと思います。子どもだけでなく、人は一生学び続ける存在だと思いますので、この気持ちを大切に続けていっていただきたいと思ひますし、私もそうありたいと思ひました。

この研修会において一番学びがあったのは私だと思います。3時間という長い時間を居眠りすることなく熱心に聞いてくださる姿勢や拙い話にも関わらず何倍にも学んでくださる姿勢からエネルギーをいただき、もっともっと謙虚に、そして積極的に学んでいかななくてはならないと強く思いました。また、準備をするにあたって、わかったつもりになっていたことや、浅い理解であったことをきちんと見直すことができ、お話をさせていただいて本当によかったなあと思ひました。

今後とも切磋琢磨し、子どもたちの未来を共に支えていきましょう。

補足

〈メラビアンの法則 ~人が相手を受け入れるまでの4つの壁~〉

第一の壁

外見 (服装, 髪形, 表情) 55% : 視覚情報

第二の壁

態度 (立ち姿, 身振り, 手振り) } 38% : 聴覚情報

第三の壁

話し方 (言葉づかい, 抑揚, 速度) }

第四の壁

話の内容 7% : 言語情報